



🍀 日 時 | 平成29年 9月6日(水) 13:30～16:30

🍀 会 場 | 東灘区民センターうはらホール JR住吉駅南側 徒歩2分
※詳しくは裏面をご覧ください。

🍀 定 員 | 500名(参加無料) ※応募多数の場合は抽選となります。
当日は、参加証をお持ちの方のみ入場・着席していただけます。

🍀 応募方法 | ホームページから
ご応募ください 詳しくは [JR西日本財団](#) [検索](#) 🍀 応募締切 | 8月14日(月)

🍀 内 容 |
【講演】 富永良喜『減災の心理学と復興の心のケア』
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授
諏訪清二『災害体験と防災学習』
防災学習アドバイザー・コラボレーター、神戸学院大学現代社会学部非常勤講師
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科特任教授
【対談】 富永良喜 × 諏訪清二
『防災・減災 ～心理支援と防災教育から』



富永氏



諏訪氏

主催:公益財団法人JR西日本あんしん社会財団 協力:西日本旅客鉄道株式会社、関西鉄道協会
後援:兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

講師

富永良喜氏

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科教授



昭和27年福岡県生まれ。昭和58年産業医科大学産婦人科助手、昭和59年兵庫教育大学学校教育学部助手、平成3年同大学助教授、平成11年同大学教授を歴任。平成29年4月より現職。また、平成23年4月より岩手県教育委員会いわて子どものこころのサポートチームスーパーバイザーも務める。地震・津波・台風などのハザードへの備えや危機時の心理及び平時のストレスマネジメントにより、危機事態における安全行動の確保を明らかにするとともに、災害後の安全感と安心感の回復のための防災教育のあり方を研究している。また、被災者のストレス障害のリスクを減じるための組織としての危機管理・個人のセルフケアのあり方の研究も行っている。著書に『大災害と子どもの心 どう向き合い支えるか』（岩波ブックレット）、『災害・事件後の子どもの心理支援：システムの構築と実践の指針』（創元社）など。

演題 減災の心理学と復興の心のケア

津波が想定される地震発生時に全ての人が高台をめざさないのはなぜか、その心理を紹介したいと思います。また、大規模災害が起きた後のストレス障害のリスクを減らし、成長を促す心のケアと防災教育のあり方を、インド洋大津波、四川大地震、東日本大震災、熊本地震後の子どもの支援の経験からお話しします。あわせて個人や組織（行政・教育委員会・事業者）が平時にできることをお伝えします。

講師

諏訪清二氏

防災学習アドバイザー・
コラボレーター
神戸学院大学現代社会学部
非常勤講師
兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科特任教授



昭和35年兵庫県生まれ。岡山大学教育学部中学校教員養成課程英語科卒業。高校教諭として神戸商業高校、舞子高校、松陽高校で合計35年間勤務。舞子高校では全国初の環境防災科の立ち上げから関わり12年間科長を務めた。現在、防災学習アドバイザー・コラボレーターとしてフリーで活動する傍ら、神戸学院大学現代社会学部非常勤講師、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科特任教授を務める。防災教育、災害ボランティア、災害体験の語り継ぎなどをテーマに実践を続けている。著書に『高校生、災害と向き合う』（岩波書店ジュニア新書）、『防災教育の不思議な力』（岩波書店）、『夢みる防災教育』（共著、晃洋書房）など。

演題 災害体験と防災学習

阪神・淡路大震災、インド洋大津波、四川大地震、中越地震、能登半島地震、平成16年台風23号、東日本大震災、熊本地震などで出会ってきた人々、子どもたち、ボランティアの高校生たちのストーリーを紹介し、災害体験からどう学んでいくかをお話しします。

お申込み方法

ホームページ から

JR西日本財団

検索

1. ホームページの応募フォームに下記の項目を入力してください。
①氏名・フリガナ ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
2. 応募締切：平成29年8月14日（月）
3. 応募多数の場合は抽選の上、結果をメールでお知らせします。
4. 受講には参加証が必要です。（平成29年8月23日頒発送予定）
5. ご応募いただいた個人情報等は当セミナーの運営及び当財団からのお知らせ以外の目的には使用しません。

※上記による応募ができない場合は、ハガキに「安全セミナー受講希望」と明記の上、
①氏名・フリガナ ②郵便番号 ③住所 ④電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。

結果のお知らせは参加証の発送をもって代えさせていただきます。

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 JR西日本あんしん社会財団

●1枚につき1名様のご応募とさせていただきます。●締切：平成29年8月14日（月）必着

会場までのアクセス



JR住吉駅「南出口」から連絡通路を通して
直接館内に入れます。（徒歩2分）